

「3桁の足し算」筆算のやり方・繰り上がりを わかりやすく解説

3けたの数のたし算

2年生の時には、「2けたのたし算」を勉強したよね。

3年生では「 $356 + 172$ 」のような「3けたのたし算」をやっていくよ。

「なんだか数が大きくなったな」と、ふあんに思うかもしれないけれど、2けたのたし算がわかっているならば、3けたもむずかしくないから あんしんしてね。

ただ、今まではくり上がりは2回までしか出てこなかったけれど、3けたのたし算では、くり上がりが「3回になる」こともあるんだ。

くり上がり1回・2回・3回のじゅんばんで、れいだいをしょうかいするね。

「繰り上がり」が1回の3桁の足し算の筆算

$356 + 172$ の計算の仕方を考えてみよう

大きな数の計算をするときは、「筆算」をすると分かりやすかったね。筆算の書き方や計算のしかたは、今までと同じだよ。



計算するときは、一のくらいから計算するんだったよね。

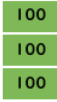
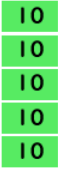
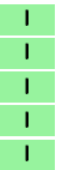

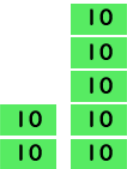

(一のくらい) $6 + 2 = 8$

(十のくらい) $5 + 7 = 12$

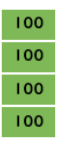

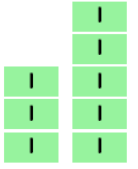
(百のくらい) $3 + 1 = 4$

十のくらいを計算すると、「10のかたまり」が12こになったよ。

「10のかたまり」が10こで100になるから、百のくらいに1くり上げよう。

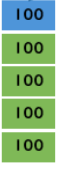

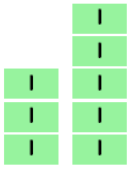
百のくらい	十のくらい	一のくらい
		
		



		
---	---	--

くり上げ



		
---	---	--



筆算では次のようにするよ。

	3	5	6		3	5	6		3	5	6		
+	1	7	2	→	+	1	7	2	→	+	1	7	2
							8			5	2	8	

ゆみねこの教科書
 くらいをたてに
 そろえて書く

$$6 + 2 = 8$$

一のくらい
 十のくらい
 5 + 7 = 12で、
 百のくらいに
 1くり上げる

「繰り上がり」が2回の3桁の足し算の筆算

168 + 574の計算をやってみよう。

計算するときには、一のくらいから計算するんだったよね。

(一のくらい)

8 + 4 = 12だから、十のくらいに1くり上げよう。一のくらいの数は2だね。

(十のくらい)

十のくらいは6 + 7だけど、くり上がりの1をわすれないようにね。

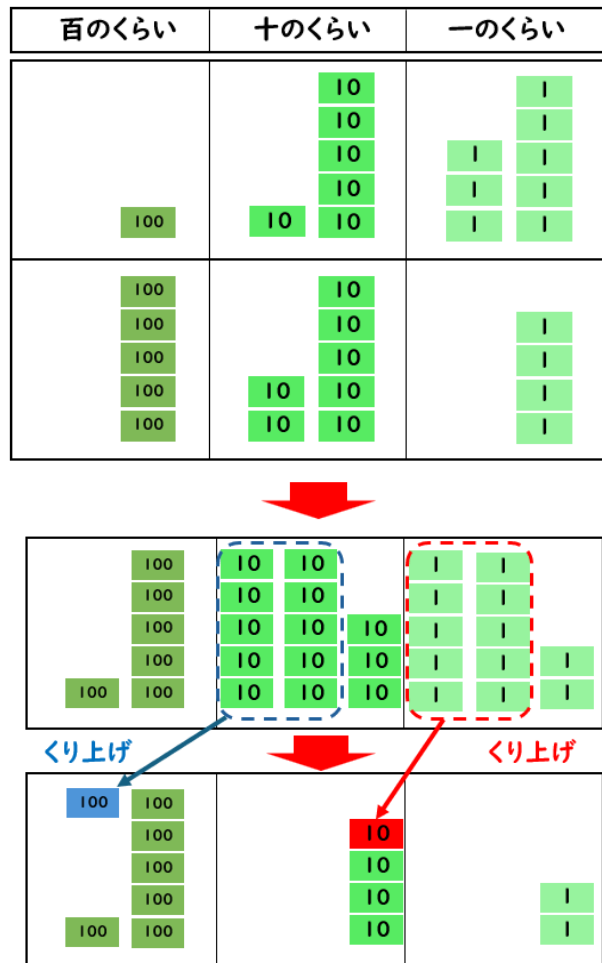
そうすると、6 + 7 + 1 = 14だから、百のくらいに1くり上げよう。十のくらいの数は4だね。

(百のくらい)

百のくらいは1 + 5だけど、くり上がりの1をわすれないようにしよう。

そうすると、1 + 5 + 1 = 7になるね。





168 + 574 の筆算は、次のように計算するよ。

		一のくらい		十のくらい																								
1	6	8	+	5	7	4	→	1	6	8	+	5	7	4	→	1	6	8	+	5	7	4	→	7	4	2		

くらいをたてに そろえて書く	$8+4=12$ で、 十のくらいに 1くり上げる	$6+7+1=14$ で、 百のくらいに 1くり上げる
-------------------	---------------------------------	-----------------------------------

くり上がりをわすれないように、小さく1を書いておくほうがいいよ。
 くり上がりが2回もあったけど、今までの計算のじゅんばんと同じだね。



「繰り上がり」が3回の3桁の足し算の筆算

942 + 58の計算をやってみよう。

計算するときは、一のくらいから計算するんだったよね。

(一のくらい)

$2 + 8 = 10$ だから、十のくらいに1くり上げよう。一のくらいの数は0だね。

(十のくらい)

十のくらいは $4 + 5$ だけど、くり上がりの1をわすれないようにね。

そうすると、 $4 + 5 + 1 = 10$ だから、百のくらいに1くり上げよう。十のくらいの数は0だね。

(百のくらい)

百のくらいは $9 + 0$ だけど、くり上がりの1をわすれないようにしよう。

そうすると、 $9 + 0 + 1 = 10$ だから、千のくらいに1くり上げよう。百のくらいの数は0だね。

(千のくらい)

くり上がりの1があるから、千のくらいの数は1だね。



百のくらい	十のくらい	一のくらい

↓

↓

↓

1000

942 + 58の筆算は、次のように計算するよ。

	一のくらい	十のくらい	千のくらい
$\begin{array}{r} 942 \\ + 58 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 942 \\ + 58 \\ \hline 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 942 \\ + 58 \\ \hline 00 \end{array}$	$\begin{array}{r} 942 \\ + 58 \\ \hline 1000 \end{array}$

くらいをたてに
そろえて書く

2+8=10で、
十のくらいに
1くり上げる

4+5+1=10で、
百のくらいに
1くり上げる

9+0+1=10で、
千のくらいに
1くり上げる



「3桁の数の足し算」の練習問題

431 + 133の計算をやってみよう。

(一のくらい)

1 + 3 = 4だから、一のくらいの数は4だね。

(十のくらい)

十のくらは3 + 3 = 6だから、十のくらいの数は6だね。

(百のくらい)

百のくらは4 + 1 = 5だから、百のくらいの数は5だね。

4	3	1		4	3	1		4	3	1	
+	1	3	3	+	1	3	3	+	1	3	3
							4		5	6	4

くらいをたてに
そろえて書く

$$1 + 3 = 4$$

$$3 + 3 = 6$$

$$4 + 1 = 5$$

この問題は、くり上がりがない「3けたのたし算」だよ。

531 + 293の計算をやってみよう。

(一のくらい)

1 + 3 = 4だから、一のくらいの数は4だね。



(十のくらい)

十のくらいは $3 + 9 = 12$ だから、百のくらいに1くり上げよう。十のくらいの数は2だね。

(百のくらい)

百のくらいは $5 + 2$ だけど、くり上がりの1をわすれないようにしよう。そうすると、 $5 + 2 + 1 = 8$ だから、百のくらいの数は8だね。

5	3	1		5	3	1		5	3	1	
+	2	9	3	+	2	9	3	+	2	9	3
						4		8	2	4	

くらいをたてに
そろえて書く

$$1 + 3 = 4$$

$3 + 9 = 12$ で、
百のくらいに
1くり上げる

946 + 254の計算をやってみよう。

(一のくらい)

$6 + 4 = 10$ だから、十のくらいに1くり上げよう。一のくらいの数は0だね。

(十のくらい)

十のくらいは $4 + 5$ だけど、くり上がりの1をわすれないようにね。そうすると、 $4 + 5 + 1 = 10$ だから、百のくらいに1くり上げよう。十のくらいの数は0だね。



(百のくらい)

百のくらいは $9 + 2$ だけど、くり上がりの 1 をわすれないようにしましょう。そうすると、 $9 + 2 + 1 = 12$ だから、千のくらいに 1 くり上げよう。百のくらいの数は 2 だね。

(千のくらい)

くり上がりの 1 があるから、千のくらいの数は 1 だね。

	一のくらい	十のくらい	千のくらい
$\begin{array}{r} 946 \\ + 254 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 946 \\ + 254 \\ \hline 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 946 \\ + 254 \\ \hline 00 \end{array}$	$\begin{array}{r} 946 \\ + 254 \\ \hline 1200 \end{array}$
くらいをたてに そろえて書く	$6 + 4 = 10$ で、 十のくらいに 1 くり上げる	$4 + 5 + 1 = 10$ で、 百のくらいに 1 くり上げる	$9 + 2 + 1 = 12$ で、 千のくらいに 1 くり上げる

「3桁の数の足し算」まとめ

今回は、3けた + 3けたのたし算を筆算でもとめたよね。もし、「4けた + 4けた」「5けた + 5けた」になったとしても、くり上がりの回数がふえるだけでポイントは同じだよ。

さい後にポイントをかくにんしておこう。

- ・ くらいをそろえて、一のくらいからじゅんばんにたし算する。
- ・ くり上がりがあるときは、くり上がる数字を小さく書いておく。
- ・ くり上がりが1回、2回、3回になるときもある。

